

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 10月 19日

【評価実施概要】

事業所番号	0170503510		
法人名	医療法人社団中山会 新札幌パウロ病院		
事業所名	グループホーム夏桜		
所在地	札幌市厚別区青葉町16丁目728 - 12 (電話) 011-892-4111		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年9月19日	評価確定日	平成19年10月19日

【情報提供票より】(19年7月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)17年10月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 12人, 非常勤 5人, 常勤換算	15.4人

(2) 建物概要

建物構造	木造		
	2 階建ての	1~2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	18,300~22,300 円	
敷金	有(円) 無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	380 円	昼食	610 円
	夕食	480 円	おやつ	円
	または1日当たり		1,470 円	

(4) 利用者の概要(7月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	7 名	女性	11 名	
要介護1	5	要介護2	8			
要介護3	3	要介護4	2			
要介護5	0	要支援2	0			
年齢	平均	84 歳	最低	79 歳	最高	94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団中山会 新札幌パウロ病院
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は開設して2年が経ち特に母体法人が医療機関であるため医療面が充実しており、利用者本人・家族の安心に繋がっている。玄関や駐車場にはベンチやテーブルが設置されており、近隣住民が気軽に立ち寄れるよう配慮している。また、事業所内は明るく開放的であり、木目調の素材が使われ落ち着いた雰囲気となっている。「大切な命を元気で楽しい命に」を理念に掲げ、全職員が熱意を持って利用者本位のケアサービスの実践に取り組んでいる。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価での課題については全体のカンファレンスで話し合い、実践につなげ改善に取り組んでいる。今後更に権利・義務の要綱や、各書類の書式・記入方法について再検証することが期待される。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>各ユニットごとに全職員で自己評価に取り組み、内容を検討してまとめている。全職員が評価の意義を理解しており、日々のケアサービスを振り返りながら質の向上に繋げるよう取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は設置されてから5回開催され、活発な意見交換が行われている。家族や町内会から意見・要望が多く出され、事業所の運営に活かしている。町内会行事や勉強会への積極的な参加が検討されており、事業所が地域において孤立することのないような話し合いがなされている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>職員は家族と積極的に関わり合いを持つよう心がけており、家族来訪時に気軽に職員が意見・要望・苦情等を伝えられるような雰囲気づくりに努めている。家族から受けた意見・要望等はミーティングやカンファレンス時に話し合い、運営に活かしている。また、事業所便りを通して利用者の日常の様子や職員の異動について報告しており、家族が常に事業所の状況を把握できるよう配慮している。</p>
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	<p>清掃活動・ピアノコンサート・茶話会など、町内の行事に積極的に参加している。また、事業所の駐車場にはベンチやテーブルを設置して近隣住民が気軽に立ち寄れるよう配慮し、常に地域に根ざした開かれた事業所となるよう取り組んでいる。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域においてその人らしく暮らし続けることを掲げた「大切な命を元気で楽しい命に」という事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎月のカンファレンスや採用時研修で話し合って職員間で理念を共有し、利用者の個性を大切にしたケアサービスを実践している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ピアノコンサートや茶話会等の町内会行事や近隣中学校の餅つき大会などに参加しており、地域住民と交流することに努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が自己評価・外部評価の意義を理解しており、ユニットごとに自己評価に取り組みサービスの向上に活かしている。また、外部評価の結果を踏まえて話し合い、具体的な改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は2ヶ月に1度開催されている。会議では明確な議題が設定され、評価の取り組み状況等についての報告もなされ、活発な意見交換が行われている。また、そこで出た意見は事業所の運営に反映させケアサービスの質の向上を目指して取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議以外にも市の担当者と連絡を密に取って関わりを持つよう努めており、共にサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>来訪時に利用者の日々の暮らしぶり・健康状態・職員の異動等について家族に報告している。来訪できない家族には、毎月発行している事業所便りや電話にて伝えている。また、金銭出納についても毎月家族に報告し、内容を確認してもらっている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>契約書・重要事項説明書に外部の苦情相談窓口を明示している。また、運営推進会議の中で出された家族からの意見・要望はミーティングでも話し合い、運営に活かしている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>開設以来職員の異動は少ない。また、異動や離職があった場合は利用者本人・家族に説明し、事業所便りでも伝えて、利用者へのダメージを防ぐよう配慮している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は職員の質の向上に向けた育成の重要性を認識し、内部・外部研修に参加する機会を多く設けており、職員は積極的に受講している。また、受講後はカンファレンス時に研修内容の報告を行っている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>ホーム長は管理者連絡会議やケアマネ連絡会に参加しており、ホーム長同士の交流は図られている。しかし、他の同業者と交流するまでには至っていない。</p>	○	<p>今後、同業者との交流や連携の必要性を話し合い重要性を把握した上で、交流する機会を設けることが期待される。</p>
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事前に利用者本人・家族に事業所に見学に来てもらい、意見・要望等を聞きながら本人が安心して徐々に事業所に馴染めるよう配慮している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>調理・清掃・畑仕事などを一緒に行い、共に暮らす家族として不安・悲しみ・喜び等を共有し、支え合う関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>生活歴・アセスメントシートを基に利用者の希望・意向の把握に努め、本人の思いに沿った支援を行っている。</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者や家族の意見・要望を聞き、その内容を反映した介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1度のモニタリングを基に月に2回のカンファレンスを行い、家族を交えた会議にて意見交換し、全職員で検討して介護計画を作成している。また、必要に応じ本人・家族と話し合っ て見直しを行っており、現状に即した介護計画となっている。</p>		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人・家族の状況に応じ、通院への付き添いや外出の送迎などの柔軟な支援を実践している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・家族が希望する医療機関への受診支援を行っている。受診や通院の際に家族が付き添えない場合は職員が対応している。また、母体法人である医療機関より月に1度の訪問診療と週に1度の訪問看護を受けており、適切な医療を受けられるよう支援している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>事業所では重度化・終末期の対応を今のところ行っていないが、入居時に本人・家族に十分な説明がなされている。また、母体法人が医療機関ということもあり、重度化した場合には迅速に対応が可能な体制が築かれている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員は利用者一人ひとりの個性や特徴を把握し、プライドを傷つけない言葉掛けや対応を心がけている。また、個人記録の保管場所も決められており、適切に処理されている。事業所便りの写真掲載についても本人・家族の同意を得てから行われている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>職員は利用者のペースを大切に、散歩・畑仕事・掃除など一人ひとりの希望・思いを尊重して支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	事業所で採れた野菜を献立にとりいれ、食事の準備や後片付けを利用者と一緒に行っており、一人ひとりの力量に合わせた支援を行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に沿うよう支援している。入浴を嫌がる利用者には清拭・足浴や言葉掛け・対応などの工夫により、一人ひとりに合わせた入浴支援を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の準備・掃除・畑仕事・洗濯物たたみなど、利用者の生活歴や身体状況に応じて経験や力を発揮する場面をつくり、生活に生きがいがあるよう支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩・畑仕事・花見など、職員は利用者一人ひとりの希望に応じた外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	午後6時～午前8時までは防犯上の理由から施錠しているが、日中は鍵をかけておらず職員の見守りの中、利用者の自由な生活を支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	年に2回防災訓練が実施されているが、町内会や地域住民への働きかけが行われておらず、協力体制を築くまでには至っていない。	○	今後、運営推進会議等を活かし積極的に地域住民にも働きかけ、災害時や緊急時に備えて協力体制を築くことが期待される。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	職員は利用者一人ひとりの食事量・水分摂取量を毎日記録しており、情報を共有している。また、献立は年に2回管理栄養士に確認してもらっており、バランスの取れた食事内容になっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居間や廊下には季節の飾りつけや手作りの品・写真などが飾られており、季節を感じられるような工夫がなされている。また、居間からは台所での食事の支度をする様子が伺え、自然に生活感を感じ取れるような造りになっている。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室には利用者が使い慣れた馴染みの家具・仏壇・手作りの品などが持ち込まれており、利用者が居心地良く過ごせるような空間となっている。		

 は、重点項目。